

湖北広域行政事務センター

新斎場整備運営事業

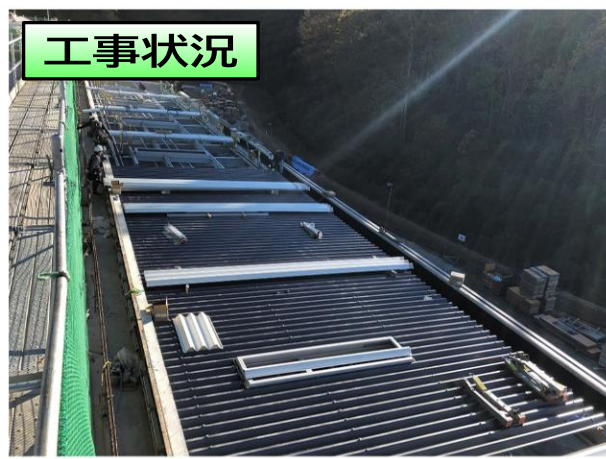


屋根工事をしています

屋根とは？

屋根は、主に建物の上部にあって、建物を覆(おお)うように設けられた構造物(こうぞうぶつ)を言います。建物外の天候(てんこう)の変化(雨や雪、強風)や、太陽の日差し、気温の変化、大気中の粉塵(ふんじん)などから建物を守る役割をしています。また、屋根の形はその土地の風土によって異なります。例えば、北海道や東北などの雪国では、通行者に雪が落下しないように、勾配(こうばい)が緩(ゆる)く雪が積もりやすいような屋根が多く、九州や沖縄などの台風が多く来る地域では、頑丈な補強(ほきょう)をした瓦屋根を使用する事が多いとされています。

工事状況

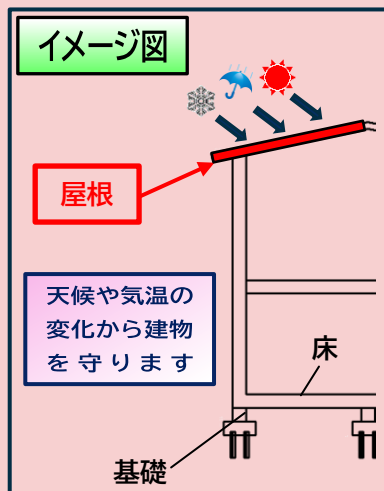


屋根の種類

屋根にはたくさんの種類がありますが、一般住宅で使われることが多いのは以下の3種類です。

1. 瓦屋根[陶器瓦(とうきがわら)やセメント瓦などの屋根です]
 2. ガルバリウム鋼板(こうばん)屋根 [ガルバリウムという合金でメッキされた金属の屋根です]
 3. スレート屋根(強力なセメントと粘土を固めた屋根です)
- 新斎場では、ガルバリウム鋼板屋根を使用しています。

イメージ図



大きな屋根がたくさんあります

今回の工事内容

今回の工事では、地域性を考慮(こうりょ)し、耐候性(※天候の変化に強いという意味です。)に優れたフッ素塗装を行ったガルバリウム鋼板屋根を採用しており、面積は約2,300㎡と、とても大きな面積となっています。